



知立市	所属議員	杉浦 弘一
------------	------	-------

【活動選定項目】 国・県・市町で連携 して取り組むテーマ を 設定	① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車) ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現 ③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上	④ 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成) ⑤ 子育て支援策 ⑥ 行政の DX 推進施策 ⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応 など)
--	---	---

具体的活動 (調査・研究含む)	1. 低炭素なまちをつくる (1)低炭素なまちづくりの展開 □首長誓約による広域連携・・・一般質問にて「ゼロカーボンシティ宣言」を提案 ▶首長が「ゼロカーボンシティ」を宣言 (R4/3月定例会) □知立市・刈谷市・民間事業者による新電力会社の設立⇒電力供給開始 (R5/7月～) □ボトル to ボトル事業の提案 (R4/12月定例会) ⇒事業開始 (R5/4月～) □次世代自動車のサブスクに対する補助金の提案 (R4/12月定例会) ⇒事業開始 (R5/4月～) □バイオマスゴミ袋の導入⇒店頭販売開始 (R4/12月～) (2)再生可能エネルギー導入の促進 □住宅用太陽光発電システム設置に係る補助⇒拡充 (R6/4月～) □市有資産を活用した太陽光発電設置・利用 ⇒公共インフラ空間を活用した太陽光発電設備設置の提案⇒事業検討開始 (R5/4月～)	・地球温暖化対策設備補助事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設 備 名 称</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">※ 一体的 導 入</td> <td>太陽光・HEMS・蓄電池</td> <td>46万円</td> </tr> <tr> <td>太陽光・HEMS・V2H</td> <td>11万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[ZEH]</td> <td>16万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>家庭用エネルギー管理システム (HEMS)</td> <td>8千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>定額用リチウムイオン蓄電システム</td> <td>40万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>家庭用燃料電池システム</td> <td>5万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電気自動車等充電設備 (V2H)</td> <td>5万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">住宅用太陽熱利用システム</td> <td>自然循環型</td> <td>3万円</td> </tr> <tr> <td>強制循環型</td> <td>7万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">※ 次世代 自動車</td> <td>燃料電池自動車 (FCV)</td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td>電気自動車 (EV)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プラグインハイブリッド自動車 (PHV)</td> <td>5万円</td> </tr> </tbody> </table>	設 備 名 称		補助率	※ 一体的 導 入	太陽光・HEMS・蓄電池	46万円	太陽光・HEMS・V2H	11万円		[ZEH]	16万円		家庭用エネルギー管理システム (HEMS)	8千円		定額用リチウムイオン蓄電システム	40万円		家庭用燃料電池システム	5万円		電気自動車等充電設備 (V2H)	5万円	住宅用太陽熱利用システム	自然循環型	3万円	強制循環型	7万円	※ 次世代 自動車	燃料電池自動車 (FCV)	20万円	電気自動車 (EV)		プラグインハイブリッド自動車 (PHV)	5万円
設 備 名 称		補助率																																			
※ 一体的 導 入	太陽光・HEMS・蓄電池	46万円																																			
	太陽光・HEMS・V2H	11万円																																			
	[ZEH]	16万円																																			
	家庭用エネルギー管理システム (HEMS)	8千円																																			
	定額用リチウムイオン蓄電システム	40万円																																			
	家庭用燃料電池システム	5万円																																			
	電気自動車等充電設備 (V2H)	5万円																																			
住宅用太陽熱利用システム	自然循環型	3万円																																			
	強制循環型	7万円																																			
※ 次世代 自動車	燃料電池自動車 (FCV)	20万円																																			
	電気自動車 (EV)																																				
	プラグインハイブリッド自動車 (PHV)	5万円																																			
選択した項目 テーマ 1	2. 低炭素な暮らしを営む (1)家庭における省エネの推進 □住宅省エネ化に関する普及啓発 □住宅省エネ設備設置に係る補助 (2)低炭素な移動の推進 □次世代自動車導入に係る補助 □電気自動車充電スタンドの設置及び補助 3. 低炭素な事業活動を営む (1)事業者における省エネの推進 □事業活動における環境認証の取得支援・促進 □業務施設の省エネ対策支援 ⇒事業者への省エネ補助事業の提案 (R4/12月定例会) ⇒補助事業開始 (R5/4月～) (2)低炭素技術開発等の促進 □事業所等に対する情報発信・PR	・プラスチック製品一括回収事業 令和7年3月まで  可燃ごみ、プラスチック製容器包装ごみ、不燃物として回収 令和7年4月から  一つの袋にまとめて入れ、全てプラスチックとして一括回収																																			

今後の活動	・地域新電力会社の電力供給状況の確認 ・「ボトル to ボトル事業」、「次世代自動車 (サブスク) に対する補助金事業」、「事業者への省エネ補助事業」の進捗状況の確認 ・「プラスチック製品一括回収周知啓発事業」の進捗確認 (R6/6月定例会)
-------	---